

平成 30 年 11 月 2 日

松阪市議会議長 中島 清晴 様

報告者 深田 龍

## 研修 報告書

日時：	平成 30 年 10 月 23 日（火曜） 13：00～16：30
場所：	ワークセンター
講師：	釘山健一氏（ファシリテーター普及協会代表）
内容：	<p><input type="checkbox"/>ファシリテーターとは？</p> <p>➡意見や質問を促すのが役割。</p> <p>そのために、参加者が発言しやすい雰囲気をつくっていくことが大事。</p> <p>例）テーブルに花を添える。お菓子や飲み物を用意する。</p> <p>テーブルにはテーブルクロスを貼る。</p> <p>会場は楽しい雰囲気を醸し出せるよう例えば、万国旗をつるす等々</p> <p><input type="checkbox"/>会議やグループワークを行う際に上記のようなハード的な整備を行うことも大事だが、ファシリテーターとなる人もその演出を行う上で「笑顔」を絶やさないと大事。人に好感を持ってもらえる笑顔とはなんなのか、いくつかのサンプルを事例に目指す「笑顔」を学ぶ。</p> <p><input type="checkbox"/>いテーマに沿って、グループワーク</p> <p>実際にグループワークで、意見を出し合うことを行い。一回ごとに役割を変えながら、ファシリテーターの重要性に気づきを得る。</p> <p>本来なら、もっと時間をかけて学ぶことを時間の制約上、要点だけに絞って教えていただけたが、その基本となる点については時間をかけていただいた。</p>
所感：	<p>ファシリテーターとはなにか？その定義から始まった研修だった。議長や司会など、よく似た役割もあるなかで、その違いをしっかりと把握したなかで話を聞いて、学ばないと今回の研修効果は薄まっていたと思う。ファシリテーターは、参加者の意見を出させるように場の雰囲気を作り、促すことがその役割となる。そのためには、よくありがちな会議体のようなかたい雰囲気ではなく、ウエルカムな雰囲気を装飾や対応などから雰囲気づくりを行い、気軽な空気感をつくることから始まる。現行の議会報告会のように対面式のものもあるが、議会として目指すかたちは市民の方々と一緒にまちづくりを行うという意味と姿勢を出すことにある。</p> <p>夢を語り合うような議会報告会にすることを目指すなかで、市民の方々との協働グループワークを行うために、その大きな役割を担うファシリテーターというものの責任を痛感することができた。</p>